

山行報告書

11 月 定例山行

☆☆

山名

葦嶽山

標高

815m

平成 26年 11月 9日(日)

山の町名

庄原市本村町

地形図2万5千

庄原・帝釈峡

CL 中島美代子

天候 雨のち小雨

SL 熊谷眞諭美

参加者名 若木(一) 江本 三浦 宮木(一) 宮木(澄) 村田 滝 幾久 安永 西本 田所 杉山
原田 中島(恵) 中島(靖) 若木(小) 川野 吉川(明) 新江 曾田 石田 藤川 (合計 24名)

コースタイム 県庁北 7:35→広島ic→庄原ic→野谷10:00～登山口10:20～11:20鞍部～鬼叫山～鞍部11:40～
11:50頂上12:00～12:40下山口。昼食。13:20→さくらびあ→庄原ic→広島ic→16:10 県庁北。

報告 予報通りの雨の中、野谷登山口より登山開始。沢沿いのなだらかな道をゆっくり登り小さな沢を幾つか渡る。道が一部崩れ、沢と区別がつかなくなった所や、苔むした石に足を掛けて登るような所もあり滑らないように注意深く足を掛けて進む。葦嶽山と鬼叫山の鞍部に向う登りは少々急登で、この時期にしては暖かだったので合羽を着ている事もあっていい汗をかきました。鞍部で息を整え、東屋にリュックを置き、まずは鬼叫山へと向かい奇岩・怪石を見て早々に鞍部に戻る。雨は小降りにはなっていました。頂上での昼食を諦め東屋で行動食を食べ葦嶽山に向かう。

頂上では残念ながらの眺望ゼロ。集合写真を撮り灰原登山口に向けて下山。下りは雨も上がり晩秋の残り少なくなった紅葉を楽しみながら、落ち葉の柔らかな絨毯を踏みしめ緩やかな下りを気持ち良く歩く事が出来ました。

唯一心残りだったのは「日本のピラミッド」と呼ばれる由縁の葦嶽山の形状が見られなかった事です。

雨ではありましたが怪我無く、道迷いも無く、無事に下山出来て良かったです。

雨の山行も捨てたもんじゃないなあ～と思える一日でした。初めての先頭を歩くと言うプレッシャーはありましたが、サブリーダーにと声を掛けてくださり下見の時からお世話になったリーダーの中島さんを始め、暖かく初サブを見守って下さった皆さんに感謝です。いい経験をさせて頂き有難うございました。次に繋げていきたいと思ひます。

記 熊谷 眞諭美

感想文 なぜ道迷い? 葦嶽山 (鬼叫山)

若木一之

葦嶽山に登った人が、道に迷って地元で救助要請をした事件が、6月と10月に続けてありました。

なぜこんな里山で道に迷ったのか、訳が知りたくて参加しました。

鬼叫山と葦嶽山の鞍部に案内の絵図があり、それを見ると鬼叫山の頂上には、奇岩、怪岩がゴロゴロとそびえている・・・そんな印象を受けました。3分ほど登ると確かに岩がありました。でもその上にさらに道が続いて頂上らしき峰が見えます。その峰に着いてみると岩はなく標識もなく単なる山のでっぺんです。

まだその先に細い踏み跡があります。奇岩、怪岩はもう少し先かな。そう思って進むうちに道に迷ってしまった。

そんな構図が頭をよぎりました。実際はどうかわかりませんが、私の思ったことは鬼叫山、葦嶽山は「日本のピラミッドか?」などと誰が考えたのか、誇大宣伝(誇大広告)もいいたところだなと言うことでした。